

LA7990 — モノリシックリニア集積回路 — プロジェクションテレビ用コンバーゼンス補正回路

LA7990は水平・垂直の、のこぎり波、パラボラ波の作成回路とそれら波形の掛け算器 (MPX) を内蔵したコンバーゼンス補正用ICである。水平・垂直の1/2周期でのスイッチを内蔵するため、多くの補正用波形の作成が可能である。

特長

- MPX 4 個内蔵
- 垂直スイッチ、水平スイッチ内蔵

機能

- ノコギリ波発声器
- パラボラ発声器
- 掛け算器
- スイッチ

最大定格 / Ta=25℃

			Unit
最大電源電圧	Vcc max	14	V
許容消費電力	Pd max	1400	mW
動作周囲温度	Topg	-20 ~ +65	℃
保存周囲温度	Tstg	-55 ~ +150	℃

動作条件 / Ta=25℃

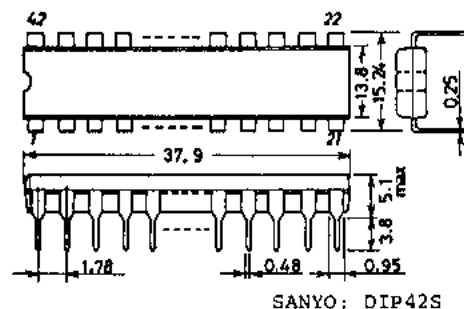
			Unit
推奨電源電圧	Vcc	12	V
動作電源電圧範囲	Vcc op	9 ~ 13	V

この資料の応用回路および回路定数は一例を示すもので、製造セッとしての特許を保証するものではありません。

またこの資料は正確な信頼すべきものであると確信しておりますが、その使用にあたってお客様の工業所有権その他の権利の実施に対する保証を行なうものではありません。

The application circuit diagrams and circuit constants herein are included as an example and provide no guarantee for designing equipment to be mass-produced. The information herein is believed to be accurate and reliable. However, no responsibility is assumed by SANYO for its use, nor for any infringements of patents or other rights of third parties which may result from its use.

外形図 3025B-042SIC
(unit: mm)



SANYO: DIP42S

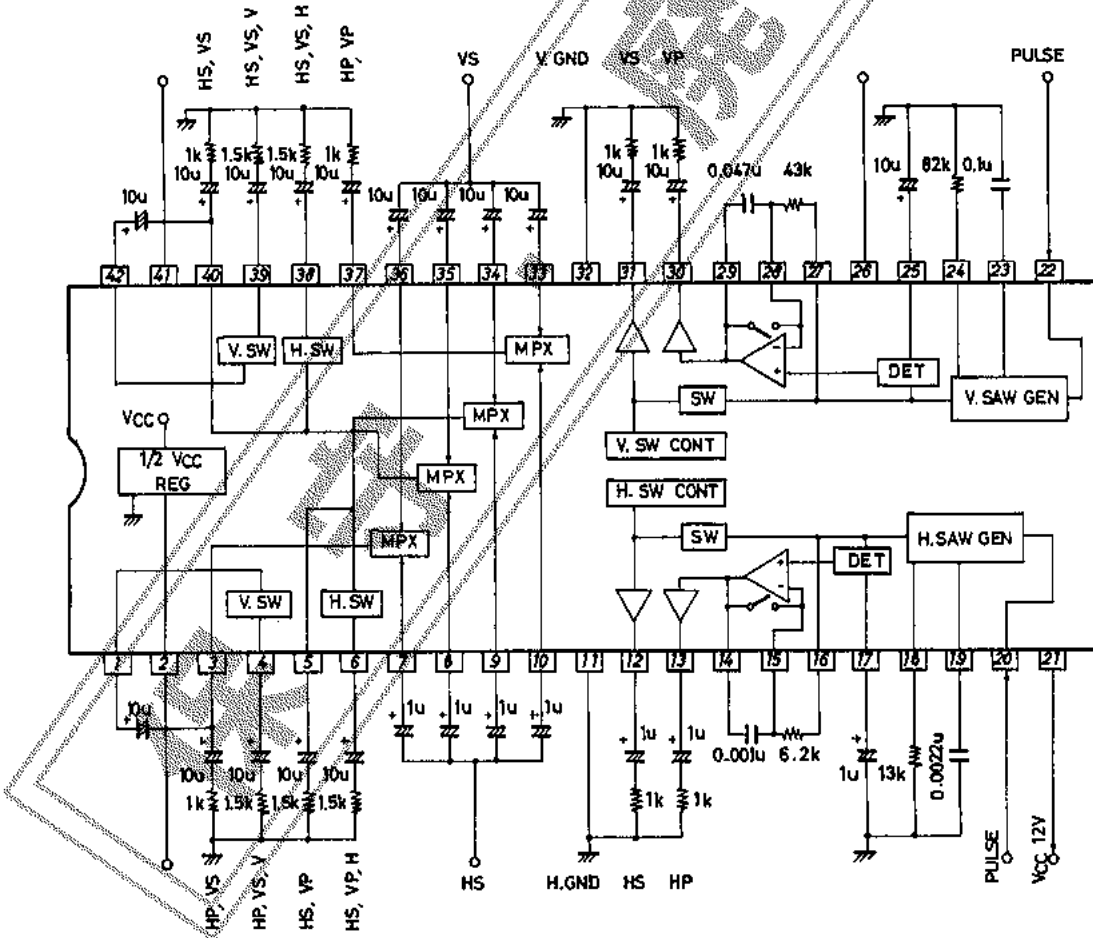
※これらの仕様は、改良などのため変更することがあります。

動作特性 / Ta=25°C, Vcc=12V

			min	typ	max	unit
消費電流	ICC		54	71	100	mA
垂直のこぎり波出力振幅	LVS	31ピン	4.5	5.5	6.5	Vpp
垂直パラボラ出力振幅	LVP	30ピン	4.0	5.0	6.0	Vpp
水平のこぎり波出力振幅	LHS	12ピン	4.0	5.0	6.0	Vpp
水平パラボラ出力振幅	LHP	13ピン	4.0	5.0	6.0	Vpp
掛け算器出力振幅	LMPX	3, 4, 5, 6, 37, 38, 39, 40ピン	3.0	4.0	5.0	Vpp
出力負荷抵抗	ROUT 1	3.5, 12, 13, 30, 31, 37, 40ピン			1.0	kΩ
	ROUT 2	4, 6, 38, 39ピン			1.5	kΩ
垂直入力パルスしきい値電圧	VV-IN	22ピン	1.2	1.5	1.8	V
垂直入力パルスしきい値電圧	VH-IN	20ピン	1.2	1.5	1.8	V
掛け算器入力抵抗	RMPX	7, 8, 9, 10, 33, 34, 35, 36ピン	40	50		kΩ
垂直スイッチ入力抵抗	RV-SW	1, 42ピン	24	30		kΩ

注) 入力波形 垂直入力 (22ピン) は、幅: 1ms, f=60Hzのパルス
 水平入力 (20ピン) は、幅: 10ms, f=15.734kHzのパルス
 掛け算器は、2.5Vppののこぎり波 (V&H)

測定回路図



ブロック図

